

## 素粒子物理 〜理論から実験の現場まで〜



ヨーロッパの民家の地下に長さ30kmのトンネルを掘り、怪しげな機械を組み立てている人たちがいます。近い将来、彼らは1日に1億円分の電気を消費して何かやるそうです。彼らの職業は”素粒子実験屋”

皆さんご存知のとおり、2008年のノーベル物理学賞は南部さん、小林さん、益川さんの3氏に授与されました。3氏の専門分野は”素粒子理論”

今回のサイエンスカフェでは、それぞれ「実験」と「理論」を専門とする2人の研究者(の卵)がお話をします。理論屋は『素粒子ってなに?』という素朴な疑問を入口に、ノーベル物理学賞の受賞理由をわかりやすく解説します。実験屋は、小林-益川理論の検証から、30kmのトンネルで行われる最前線の加速器実験「LHC」までを現場の視点から紹介します。

現在の素粒子物理がどんな世界を描き、それをどのように検証しているのか、お酒を飲みながらじっくり味わってみませんか?

ゲスト: 久保田隆至さん  
(東京大学素粒子物理国際研究センター: 博士3年)  
安田淳一郎さん  
(名古屋大学高等教育センター: 特任講師)

日時: 2009年3月21日(土) 18:00~20:00

場所: Bistrot ZEBRA (姫路市綿町63藤野ビル1F)

参加費: 2500円(1ドリンク+フード代として) 定員: 25名  
未成年の参加者、運転される方にはアルコールは提供できません。

申込・問合せ: 神戸大学サイエンスショップ

メール: [scicafe@radix.h.kobe-u.ac.jp](mailto:scicafe@radix.h.kobe-u.ac.jp)

TEL・FAX: 078(803)7979

主催: サイエンスカフェはりま

後援: 姫路市、姫路市教育委員会

協力: ひょうごサイエンス・クロスオーバーネット

サイエンスカフェ神戸 (<http://scicafe.h.kobe-u.ac.jp/>)

神戸大学サイエンスショップ (<http://www.h.kobe-u.ac.jp/2114>)

東京大学素粒子物理国際研究センター

